寺院名物シリーズ㊷　鳥取因幡組　光賢寺

幾度かの火災焼失後、1709（宝永6）年の再建とも伝えられ、本堂屋根とは別に向拝に入母屋の屋根が用いられていることが特徴です。巧みな技術をもって施工された当時の方々、そして大切に護持し今ここに伝え残してくださった多くの先達方に深く感謝しつつ、身が引き締まるばかりです。

山陰

編集　御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会
発行　山陰教区教務所
〒690-0002 松江市大正町443ノ1
本願寺山陰教堂
TEL 0852(21)4747
FAX 0852(27)8351
発行者　晨利信

今年度の実践運動を振り返って

御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会
副委員長　三明浄信

さて、山陰教区においては「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）を推進しております。実現に向け「山陰教区重点プロジェクト《2024（令和6）年度～2027（令和9）年度の4ヶ年計画》を掲げております。

2024（令和6）年度が終わり、2ヶ年目の中間を迎えます。従って「御同朋の社会をめざす運動山陰教区委員会設置規則第3条第一号」に基づき、中間の成果・点検をするものです。紙面の都合上、詳細についてはお許しいただき、数件に絞って述べてみます。

達成目標として「同朋社会部会」「寺院活動支援部会」「伝道広報部会」の3つを設置し、各部会において起案実行に取り組んでいます。「同朋社会部会」では、人権社会問題に対して、視聴覚をフルに活用しての企画（実例、映画「福田村事件」等）を通して研鑽に努めています。「伝道広報部会」では「山陰妙好人カレンダー」を発刊する等、広報伝道教化につとめています。近年、4万部を超える注文をいただいています。継続して取り組むことの重要性を重く受け止めています。

また、「寺院活動支援部会」においては、寺院機能の活性化及び過疎地域寺院対策の一環として「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員会設置規則内規の一部改正を行い「寺院振興担当」を設置することになりました。このことは当教区独自で起案した意義のある事項と思っています。

過疎化・少子化・高齢化から生ずる諸問題への積極的取り組みへの意気込みです。その一方策として、昨今の社会現象を鑑みる時、IT（情報技術）活用への取り組みは欠かせないこととなっています。新聞等で報道されている通り「オンライン診療」の実施に向け、検討されていることが伝えられています。理由として、医師不足が深刻化している地方にとって、有効な対策となるはずだからです。懸念としては、シニア対象に利用されやすい環境作りが必要とも報道されていました。参考にする価値は大であると思われます。「オンラインと親しく歩む」（仮称）を掲げて、諸問題への解決打破への一考と思っています。

当教区実践運動推進に向かって、僧俗一丸となって取り組みましょう。

合掌

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要「組における法要行事」一覧

期間中、各組において法要・行事が行われました。

組	期日	会場	講師	人数		
				法要	行事	帰敬式
鳥取伯耆	2024年10月６日（日）	勝福寺	北島 清秀 師	212名	111名	46名
出　雲	2024年６月１日（土）	妙壽寺	蕚 慶典 師	165名	165名	70名
神　門	2024年４月20日（土）	大社うらら館	松崎 智海 師	530名	600名	82名
飯　南	2024年２月24日（土）	来島交流センター	花岡 静人 師	179名	179名	—
大田東	2023年９月30日（土）	正蔵坊	姜 暁艶 氏	148名	148名	21名
大田西	2023年８月２日（水）	願林寺	三浦 誠 師	49名	49名	—
川　本	2024年10月５日（土）	悠邑ふるさと会館	笑福亭仁智・大智	111名	111名	—
邑智東	2023年６月11日（日）	いきいきセンターみずほ	藤岡 良治 師	150名	150名	—
邑智西	2023年７月14日（金）	矢上交流センター	アサカラザル（漫才法話）	235名	235名	—
浜　田	2024年４月28日（日）	眞光寺	三浦 明利 師	257名	250名	118名
鹿　足	2023年10月20日（金）	正法寺	木下 明水 師	98名	98名	—

2025（令和7）年 本願寺山陰教堂御正忌法要

1月21日（火）、本願寺山陰教堂の御正忌をお勤めいたしました。

午前の法要は「宗祖讃仰作法」、午後の法要は「宗祖讃仰作法（音楽法要）」。結衆として神門組と三隅組のご法中に、奏楽員として雅龍会の皆さまにご出勤いただきました。

また、オンライン担当の皆さまにご協力いただき、本堂の様子をオンラインで配信しました。

ご講師は、本願寺派布教使 野村康治 師（大阪教区 中島東組 瑞松寺 住職）。参拝者の皆さまと一緒にお聴聞させていただきました。

午前の法話では、仏教がどのようにして、インドから日本まで伝わってきたのかを詳しくお話いただきました。また午後の法話では、親鸞聖人のご生涯、現代まで伝わってきた歴史などをお話いただきました。浄土真宗の歴史を、今一度味わわせていただくご縁をいただきました。

皆さま、寒い中ようこそお参りくださいました。

親鸞聖人御誕生 850年
立教開宗 800年
慶讃法要記念
川勝オリジナル
〈経本入・式章袋・念珠袋〉

御本山用達
株式会社 川勝法衣店
〒600-8344　京都市下京区花屋町通油小路東入
0120-075-055
TEL.075-371-0367（代）
FAX.075-371-5088

連研履修者研修会に参加して

出雲組　宗玄寺　藤森観海

２月９日（日）、大田中組の西本寺を会所に「連研履修者研修会」が開催されました。

今年は全国的に豪雪の日々が続き、高速道路や公共交通にも大きな影響がありました。山陰地方も例外でなく、教区内各地から集まった方々の話題も雪で始まりました。会所寺院には早朝より雪かきが大変だったろうと思います。

開会式の後、鹿足組誓立寺の朋澤融智 師の法話を聴聞しました。勤めている保育所での体験を通しての気づきや、教えを鏡として生きることの大切さをお示しくださいました。

次に邑智東組高善寺の武田正文 師によって、「連研を通して、感じたこと、気づいたこと、うれしかったことを話し合ってください」のテーマに沿った問題提起があり、昼食をはさんで話し合い法座と全体協議会を行いました。中央教修を修了された方も数名おられ、その経験談やお念仏との出遇いなど話され、限られた時間でしたが、有意義なひとときを過ごすことができました。

引き続いて勤式指導員の小原静伍師による仏事・勤行指導があり、最後に教区門徒推進員連絡協議会会長の齊藤 寛 氏から「中央教修のすすめ」と題し、お話を頂いて全日程を終了しました。

年に一度の研修会ですが、組連研を履修された方々の更なる研修の場、中央教修へのステップとして「教区連研履修者研修会」が山陰教区内でのお念仏の拡がりにとって大きな役割を果たすであろうと再認識いたしました。

会場が教区内５ブロック順番であるのも意義あることと改めて思いました。各地域で異なる点もあるでしょうし、会所を引き受けてくださるお寺には歴史があり本堂の荘厳や境内の様子、地域とのつながりもそれぞれです。研修以外にもいろいろなことを学ばせていただいたように思います。たくさんの出遇いもありました。そのひとつひとつを大切にし、お念仏の輪が拡がり深まっていくよう努めたいと思います。

仏教壮年会連盟ブロック研修会

ブロック研修会は、コロナ禍において中止が続いていましたが、昨年度から鳥取・出雲・石見の３ブロックそろっての再開となりました。

どの会場でも、昨年度同様の参加がありました。熱心に聴講される会員の皆さまの姿が印象的でした。

【出雲ブロック】
期　日　10月20日（日）
会　場　チェリヴァホール（雲南市）
講　師　晨 利信 教務所長
テーマ　「今、仏教壮年の仲間を作るには何ができるか？何が必要か？」
参加人数　73名

【石見ブロック】
期　日　２月11日（火・祝）
会　場　いわみーる（浜田市）
講　師　石橋純誓 氏（門徒推進員・非戦平和を願う真宗門徒の会呼びかけ人）
テーマ　「お念仏と私の生き方―非戦平和を願って―」
参加人数　40名

【鳥取ブロック】
期　日　７月14日（日）
会　場　鳥取因幡組 西法寺
講　師　山名立洋 師（鳥取因幡組 養源寺 住職）
テーマ　「お寺の持つ可能性」
参加人数　34名

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）
山陰教区委員会（総会）報告

1. 日　時
2025（令和7）年2月17日（月）
午後1時30分～午後3時55分
2. 会　場
山陰教堂 教化センター 研修室
3. 出席者　31名（欠席者9名）
4. 協議事項
(1) 事務報告
・教区委員会委員の就退任
就任：兜坂彰英委員、
退任：柳楽由乗委員
(2) 中央委員会報告
須山成顕中央委員から報告。
・他教区からの意見具申について
(3) 2024（令和6）年度
事業報告（現況）
事務局及び各部会の部長から報告。
特記事項は次の通り。

【事務局】
・各組実践運動関係の研修会・協議会の開催報告書の提出依頼。
・人権啓発推進僧侶研修会（み教えと差別の現実、感染症・ハンセン病と差別問題等）の継続した取り組みを依頼。

【同朋・社会部会】
・同朋社会研修会上映の映画「福田村事件」を各組においても活用し、学びを深めていただきたい。

【寺院活動支援部会】
・子ども・若者ご縁づくりの推進について、今後も少年連盟と合同で、研修会の開催を検討していく。
・ご縁まち交流について、現在の体制を変えていく必要がある。
・過疎対応支援員制度が来年度から教区の寺院振興対策委員会に移管されることを踏まえた検討が必要となる。

【伝道・広報部会】
・カレンダーの申し込みが、4万部を超え、過去最高となった。
(4) 2025（令和7）年度
事業計画（案）
事務局及び各部会の部長から説明。
原案通り承認。
特記事項は次の通り。

【同朋・社会部会】
・同朋社会研修会の内容について、令和7年度は戦後80年となることから、非戦平和に関する研修会を2回開催する予定である。

【寺院活動支援部会】
・これまで過疎対応支援員の業務は宗派が統括していたが、宗門総合振興計画終了にあわせ教区に業務移管されることとなった。これを機にこれまで「ご縁まち交流担当」としていたものを「寺院振興担当」と改め、過疎対策を含め取り組んでいきたい。

【伝道・広報部会】
・僧侶研修会の会場を広い出雲市民会館とする。またサテライト会場は設置せず、個別のオンライン参加の対応とする。
・勤式練習所について、令和6年度の参加者が多かった正信偈の講義を3回開催する予定である。
・教区報掲載記事の企画を募集している。
・オンライン担当者を募集しているので協力を願いたい。
主な質問・意見は以下の通り。
・過疎対応支援員の業務が教区に移管されることについて、宗派では会議等もなくなるのか。
⇓宗門総合振興計画終了に伴い制度が廃止となる予定である。
・他の部会において経費の捻出が難しい場合、カレンダー頒布の余剰金から補填いただくことは可能か。
⇓検討の余地はあると考えている。
(5) 内規一部変更について
事務局から、教区委員会設置規則内規の一部変更（寺院振興担当の設置）について説明。原案通り承認。
(6) 部会
※3部会に分かれ協議
(7) 全体会
各部会部長から部会報告。

【同朋・社会部会】
・戦後80年にあたり、7月9日の研修会の開会式で、法話を含めた法要を修行したい。

【寺院活動支援部会】
・寺院振興担当は、寺院活動支援部員全員があたり、教化団体との連携も図っていきながら具体策を検討していく。
・法座を開きたいという寺院に対してのサポート方法について今後協議していく。
・担当者について承認。

【伝道・広報部会】
・令和8年度の僧侶研修会は社会問題をテーマに瓜生 崇 師に講師を依頼する予定。
主な質問・意見は以下の通り。
・過疎対応支援員制度について、教区として統括していく部門を設置していただきたい。

以上

特別法務員資格試験・法務員資格試験合格者連絡協議会／勤式研修会（寺族婦人研修会併催）

日　時　２月19日（水）
〈協議会〉午前10時30分～
〈研修会〉午後１時30分～
会　場　本願寺山陰教堂
　　教化センター研修室
参加人数
〈協議会〉14名
〈研修会〉85名
現地　54名（うち寺族婦人27名）
オンライン31名
（うち寺族婦人25名）

特別法務員・法務員資格試験合格者を対象とした連絡協議会を開催しました。

はじめに、小原靜伍 教区勤式指導員から、本山で開催された勤式指導員研修会の報告をいただきました。

続いて、小原 指導員の進行のもと、参加者同士の意見交換を行い、教区での研修会の持ち方などについて協議されました。

午後からは、勤式研修会を開催。本願寺御用達開明社「有限会社花新」代表取締役社長の水本高史 氏を講師にお招きし、「仏華について」と題し、実演講義をいただきました。

前半は、小さな花瓶に普段のお荘厳で使える仏華を、後半は、大きな花瓶に本山で荘厳されるような大きな仏華を活けてくださいました。実演の中でも丁寧にお話いただき、学びを深めることができました。

仏華についての講義ということもあり、寺族婦人会連盟の研修会も併催。現地・オンラインともに、多くの坊守さまの参加がありました。

参加者からは、「日常のお花のお供えにとても参考になった。すぐに取り組んでみたい。」「勉強になりました。形よく活けられたので沢山のこと学びました。」「本山では遠くから眺めるだけですが、立花・生けるのが大変だということがわかりました。」などの意見をいただきました。

ビハーラ山陰 公開講座

期　日　2025（令和7）年
　　2月20日（木）
会　場　パルメイト出雲
参加者　30名

今年度の公開講座は、「コミュニティナースと考えるこれからのお寺の可能性」と題し、出雲市出身で株式会社ＣＮＣ代表取締役の矢田明子さんにお話をいただきました。〝コミュニティナース〟ということばを初めて聞く参加者も多く、看護師の方の実践活動のイメージが強くありましたが、実はそうではなく、特別な資格は必要なく、誰でも身近なところで実践できる活動であることがわかりました。

例えば、郵便局の中の一角にスペースを作り、郵便物を出しに来られた方との何気ない会話から普段と違うところはないかを発見することや、移動販売をしながら町を周って地域の方と会話をする、他にも、土木関係の仕事を退職された方に声をかけ、子どもの遊具を作ったりと、地域活性化の活動はさまざまでした。

お寺においても、地域の方々が集まれる場所となるような具体的なご提言を多くいただきました。

ビハーラ山陰にとりましても、今後の活動を展開していくうえで大いに参考となる講座であり、参加者とともに、連携を深めながら実践できる活動を探ってまいります。

地区別布教大会

三隅組　明顯寺　佐々木（ささき）かおり

２月26日（水）・27日（木）に石東ブロック担当で地区別布教大会が開催されました。１日目は大田市内の８ケ寺に若手とベテラン布教使が１人ずつ派遣され、１席約40分ずつお取次させていただきました。

私は久手町の極楽寺（福間信隆 住職）に出講させていただきました。ご住職は「お参りは少ないかも」とおっしゃっておられましたが、30人近いお参りがあり、極楽寺のご門徒さんだけではなく、地域の方も多くお参りくださったそうです。

最初は、こちらもご門徒さんも緊張していましたが、徐々に空気がほぐれるのを感じ、うなずきながら熱心にお聴聞くださるお姿は励みになりました。

コロナ禍以降、お寺の法座を開きにくくなったり、開座してもお斎を出せなくなったり、法座を取り巻く環境は変わりました。コロナ禍で変化したというよりは、10年位時代が進んだように感じています。

それでも、お聴聞のともしびを絶やさぬよう、厳しい状況の中、どうにか踏ん張って法座を続けているお寺に出講させていただくことは、布教使としての喜びを頂戴しますし、そこにお参りくださるご門徒さん、法座を共に支えてくださる皆さんには、ただ「ありがとうございます」と頭が下がります。

また、山陰教区布教団で毎年開催してくださるこの地区別布教大会は、なかなか出講する機会のない若手を育てる場にもなっています。この機会が長く続く事を念じあげます。

２日目は、天岸淨圓 師（大阪教区東住吉組 西光寺・行信教校校長）から、「今後の布教への思い」との講題でご講義いただきました。

熱のこもったお話を頂戴し、質疑応答での質問にも、熱心に時間をかけてお答えくださいました。

お取次させていただくことについ慣れてしまっている自らを恥じ、勉強を怠らないでいなければと、我が身を振り返る時間でありました。

尊いご縁をありがとうございました。

青年布教使大会

三隅組　西方寺　河野（こうの）慈演（よしのぶ）

３月４日に、邑智西組長円寺におきまして、「山陰教区布教団青年布教使大会」が開催され、お聴聞させていただきました。今回の開催にあたりご尽力いただきました皆さまに、深く御礼申しあげます。

当日は45歳以下の青年団員４名の布教使によるご法話から、閉会後の講評に至るまで、その全てが貴重な学びの場となりました。

ご法話では実際に目で見て体験したことが、聞き手に対して物凄く説得力があるということを強く実感しました。そのうえで、それぞれの布教使の体験やエピソードを通し、笑いも交えながら、阿弥陀如来さまのお心を正しく、わかりやすく、ありがたくお取り次ぎいただきました。

団長・副団長をはじめとする方々から講評をいただく中で、このような布教大会という研鑽の場でお育てをいただくことが、自身の成長にも繋がっていくことを感じました。

また、参拝されたお同行の皆さまにはアンケートにご協力いただき、法話についての評価や、実際に聴聞されたお同行の感想も紹介され、普段聞くことのできない感想にも触れることができました。

私自身、最初から浄土真宗というステージの上に立って話をしてしまうことが多く、そこに伝わりにくさや、わかりづらさを指摘されることが多々あります。僧侶の立場以外の視点にもしっかりと目を向け、現場の声にも耳を傾けることはとても大切だと思います。それがそのままお同行によって育てられる、聞き手によって育てられる姿でもあると考えています。

最後になりますが、この度の青年布教使大会で学んだことを大切に刻み、今後も研鑽を重ねていく所存です。尊いお育てを賜りありがとうございました。

2025（令和7）年度 実践運動 山陰教区　行事予定

部門		行事（事業）名	期日	会場	講師	参加者
教区委員会		委員会（総会）		本願寺山陰教室	—	
		実践運動ブロック連絡会議	（５ブロックごとに自主的に開催）			
		実践運動人権啓発推進僧侶研修会	（各組または合同開催）			
		実践運動推進協議会	（各組または合同開催）			
		組重点プロジェクトリーダー・サブリーダー研修会				
同朋社会部会		同朋社会研修会	７月９日（水）	出雲市民会館	アーサー・ビナード氏	
寺院活動支援部会		連研のための研究会				
		連研履修者研修会				
		キッズサンガ通信発行	—			
		寺院子弟のネットワークづくり				
		子ども・若者ご縁づくり教化資料発行	（しおり頒布）			
		寺院振興・過疎対策についての取り組み				
伝道広報部会		カレンダー・伝道資料・冊子発行	10月発行			
		教区報「山陰」発刊	161号・162号・163号			
		ホームページ「山陰教区」	（https://saninkyoku.net）			
		僧侶研修会	９月５日（金）	出雲市民会館	武田一真 師	
		勤式講習会（僧侶研修会と併修）	９月５日（金）	出雲市民会館	小原靜伍 師	
		法務員・特別法務員連絡協議会・勤式研修会	２月後半	本願寺山陰教室	満田宣也 師	
		勤式練習所	５月28日（水） ６月19日（木） 10月10日（金）	出雲市民会館 あすてらす 江津市総合市民センター	勤式担当 勤式担当 勤式担当	
		オンライン研修会				
社推協		各施設カレンダー配布				
ビハーラ		ビハーラ山陰総会				
		ビハーラ活動第４連区研修会	—	—	—	—
		ビハーラ全国集会	—	—	—	—
		ビハーラ公開講座				
		ビハーラ山陰機関誌発行				
門徒推進員		総会				
		実践運動研修会				
		第４連区門徒推進員実践運動研修会	10月26日（日）・27日（月）	備後教区		
		会報「ともしび」発行				
布教団		総会	４月17日（木）	本願寺山陰教室	桑原浄昭 師	
		地区別布教大会				
		教学研修会	７月14日（月）	本願寺山陰教室		
		教区青年布教使大会	12月10日（水）	浜田組覚永寺		
		教区青年布教使研修会				
		第４連区布教使研修会	７月１日（火）２日（水）	山口教区		
		第４連区青年布教使研修会	10月１日（水）２日（木）	四州教区		
		寺院振興「ともしび法座」	（組長からの申請に基づき実施）			
		鳥取常例線布教	９月・10月・３月			
総代会		総代会研修会				
		第４連区門徒総代会研修会	—	—	—	—
		会報「門徒総代会だより」発行	３月発行予定			
壮年会		仏教壮年会セミナー	—	—	—	—
		総会･研修会	６月７日（土）	本願寺山陰教室	大松龍昭 師	
		ブロック研修会（鳥取地区）				
		ブロック研修会（出雲地区）				
		ブロック研修会（石見地区）				
		連区連絡協議会	６月21日（土）	本願寺備後教室		
		仏壮会員研修会	９月27日（土）	ふくやま産業交流館		
		会報「壮創」発行	３月発行予定			
婦人会	仏婦	教区総会・研修会	５月12日（月）	松江テルサ	朝戸臣統 師	
		実践運動研修会				
		教区若婦人のつどい				
		連区連絡協議会				
		中四国地区仏教婦人会大会	—	—	—	—
		仏教婦人幹部研修会	６月７日（土）～9日（月）	沖縄県	沖井智子 師 田中信勝 師	
		若婦人中央研修会				
		総連盟総会	４月25日（金）	本願寺		
		世界仏教婦人会大会	—	—	—	—
	寺婦	寺族婦人研修会				
		若寺族婦人研修会	９月６日（土）	出雲市内	前田純代 師	
		会報「寺婦のひろば」発行				
青少年	少年	総会				
		指導者研修会				
		少年連盟中央研修会				
		中･四国ブロック指導者研修会	７月９日（水）10日（木）	安芸教区		
		少年教化寺族女性研修会				
		広報紙「はばたき」発行				
	保育	まことの保育大学講座（連区）				
		全国保育大会				
		総会・理事会				
	仏青	中四国ブロック真宗青年の集い				
		全国仏教青年のつどい				
		青少年教化指導員研修会				
	野球	全国寺族青年軟式野球大会				
		中･四国地区寺族青年野球大会	６月12日（木）・13日（金）	安芸教区		
矯正教化		矯正教化連盟山陰教区支部総会				
		矯正教化連盟広島支部（教誨師）研修会		山陰教区		

2025（令和7）年度 山陰教区一般会計 歳計予算

【歳　入】

款　　項	2025年度予算額	2024年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	34,146,000	34,395,000	△ 249,000
1 本年度賦課金	34,146,000	34,395,000	△ 249,000
2 過年度賦課金	0	0	0
2 宗派助成金	11,990,000	11,850,000	140,000
1 宗派助成金	11,990,000	11,850,000	140,000
3 願記手数料	1,800,000	1,800,000	0
1 願記手数料	1,800,000	1,800,000	0
4 回　　金	1,710,000	1,610,000	100,000
1 回　　金	1,710,000	1,610,000	100,000
5 雑　収　入	1,289,000	1,745,000	△ 456,000
1 雑　収　入	1,289,000	1,745,000	△ 456,000
6 前年度繰越金	9,100,000	8,900,000	200,000
1 前年度繰越金	9,100,000	8,900,000	200,000
歳入合計	60,035,000	60,300,000	△ 265,000

【歳　出】

款　　項　　目	2025年度予算額	2024年度予算額	対比△減
1 教区事業費	13,568,000	15,630,400	△ 2,062,400
1 総合教化企画費	2,640,000	2,963,000	△ 323,000
1 御同朋の社会をめざす運動推進費	2,640,000	2,963,000	△ 323,000
2 教化費	5,880,000	6,190,000	△ 310,000
1 寺院機能振興費	930,000	730,000	200,000
2 婦人青少年費	1,150,000	1,650,000	△ 500,000
3 総代・壮年費	350,000	300,000	50,000
4 研修費	2,100,000	2,160,000	△ 60,000
5 矯正福祉費	400,000	350,000	50,000
6 文書伝道費	900,000	950,000	△ 50,000
7 教化活動費	50,000	50,000	0
3 助成費	4,848,000	6,277,400	△ 1,429,400
1 布教団助成金	330,000	530,000	△ 200,000
2 各種団体助成金	420,000	620,000	△ 200,000
3 地方教化助成費	4,098,000	4,127,400	△ 29,400
4 組教化助成費（費目削除）	0	1,000,000	△ 1,000,000
4 災害対策費	200,000	200,000	0
1 災害活動費	200,000	200,000	0
2 会議費	1,515,000	2,010,000	△ 495,000
1 会議費	1,515,000	2,010,000	△ 495,000
1 教区会議費	965,000	1,460,000	△ 495,000
2 組長会費	400,000	400,000	0
3 各種会議費	100,000	100,000	0
4 職員会議費	50,000	50,000	0
3 教務所費	26,470,000	24,490,000	1,980,000
1 人件費	21,190,000	19,210,000	1,980,000
1 教務所職員俸給	12,970,000	11,600,000	1,370,000
2 賞与	2,890,000	2,750,000	140,000
3 退職交付金	10,000	10,000	0
4 福祉費	2,820,000	2,800,000	20,000
5 諸手当	2,450,000	2,000,000	450,000
6 教区勤式指導員事務費	50,000	50,000	0
2 事務費	3,900,000	3,900,000	0
1 通信印刷費	1,650,000	1,650,000	0
2 事務消耗品費	650,000	650,000	0
3 事務諸費	1,300,000	1,300,000	0
4 備品費	300,000	300,000	0
3 旅費	800,000	800,000	0
1 交通費	800,000	800,000	0
4 諸費	580,000	580,000	0
1 慶弔供奠費	150,000	150,000	0
2 接待費	30,000	30,000	0
3 渉外費	200,000	200,000	0
4 雑費	200,000	200,000	0
4 回金	14,920,000	15,000,000	△ 80,000
1 回金	14,920,000	15,000,000	△ 80,000
1 山陰教堂運営費	13,370,000	13,450,000	△ 80,000
2 災害対策費	1,000,000	1,000,000	0
3 退職積立金	500,000	0	500,000
4 子ども・若者推進事業費	50,000	50,000	0
5 「各種法要」積立金	0	500,000	△ 500,000
6 平衡資金	0	0	0
7 慶讃法要費（費目削除）	0	0	0
5 宗会議員選挙費	100,000	500,000	△ 400,000
1 宗会議員選挙費	100,000	500,000	△ 400,000
1 宗会議員選挙費	100,000	500,000	△ 400,000
6 予備費	3,462,000	2,669,600	792,400
1 予備費	3,462,000	2,669,600	792,400
歳出合計	60,035,000	60,300,000	△ 265,000

ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 JTB 山陰支店

〒690-0003
松江市朝日町477-17　松江SUNビル7階
TEL 0852-23-6720
FAX 0852-23-7739
営業時間：9:30～17:30（土・日・祝日休業）

2025（令和7）年度 本願寺山陰教堂 常例法座「燈映会」

場所：本願寺山陰教堂（松江市大正町 443-1）　※ JR 松江駅南口から徒歩３分

日時			講師名	組	寺号
2025年（令和7年）	４月21日（月）	午後１時30分～	佐々木かおり	三隅組	明顯寺
	５月21日（水）	午後１時30分～	吉田　剛	松江組	眞光寺
	６月20日（金）	午後１時30分～	林　彰	大田東組	松林寺
	７月18日（金）	午後１時30分～	武田　正文	邑智東組	高善寺
	８月21日（木）	午後１時30分～	三浦志保子	江津組	正福寺
	９月19日（金）	午後１時30分～	佐和田　裕	飯南組	西正寺
	10月21日（火）	報恩講法要（二座） (午前法要)午前10時30分～ (午後法要)午後１時30分～	那須　英信 師	備後教区 沼隈南組 善正寺	
	12月19日（金）	午後１時30分～	徳川　眞英	大田東組	浄土寺
2026年（令和8年）	１月21日（水）	御正忌法要（二座） (午前法要)午前10時30分～ (午後法要)午後１時30分～	吉崎　哲真 師	安芸教区 佐伯奥組 西法寺	
	2月20日（金）	午後１時30分～	瑞光　倫浩	邑智東組	眞清寺
	３月19日（木）	午後１時30分～	服部　浩明	浜田組	清岸寺

毎月 21 日開座（11 月を除く）　※ 21 日が土日祝日の場合は平日に前倒し

2025（令和7）年度 山陰教区 鳥取常例線布教

各月15日～17日（４会所）		講師名	組	寺号
2025（令和７）年	９月	西原　真公	佐波組	浄土寺
2026（令和８）年	３月	山﨑　崇峰	出雲組	妙壽寺

2024（令和6）年度　ともしび法座報告

	開催組	開催寺院	法座名	開座日	講師名
1	大田東組	禮善寺	永代経	令和６年　５月25日　（土）	小野　隆志
2	大田中組	法乗寺	永代経	令和６年　６月22日　（土）	河野　慈演
3	佐波組	大光寺	報恩講	令和６年　11月３日　（日）	小笠原宣隆
4	江津組	淨念寺	報恩講	令和６年　11月23日　（土）	毛利　孔晶
5	大田東組	禮善寺	報恩講	令和６年　12月１日　（日）	大原　浩市
6	鹿足組	了徳寺	御正忌報恩講	令和７年　１月５日　（日）	佐々木かおり
7	鹿足組	正斎坊	御正忌報恩講	令和７年　１月19日　（日）	市野　覚生

山陰教区寺院振興「ともしび法座」のご案内

山陰教区では、住職不在等の理由で法座開催が困難になっているご寺院を対象に、寺院機能の振興を目的として、教区布教団員の奉仕布教による「ともしび法座」を開座しています。

この法座は、平成14年度（平成16年度から「ともしび法座」に名称変更）から実施され、今年で24年目を迎えます。これまでに報恩講・永代経法要など延べ209座に出講させていただきました。

人口減少・高齢化等の影響で寺院を取り巻く状況は益々厳しくなっています。さまざまな理由から法座が開催できないなどお困りの場合は、教務所までご相談ください。詳細についてご案内いたします。

※開座には、ご寺院の所属する組長からご申請いただきます。

フードバンク活動報告

ご協力いただいた団体・個人から
３３７（延べ数）
届けていただいた食品・日用品の数３３５０
お米 約１３２０kg、
お菓子 約１５３０食、
インスタント食品 約１３５０食、
缶詰 約３２０個、
調味料 ４００個、
飲料水 約７００本
その他日用品（洗剤・タオル等）
これまで65回にわたり山陰両県の社会福祉協議会や管轄する役所、活動されている団体へお渡ししました。
また各社会福祉協議会の方から特にお菓子・レトルト食品・カップ麺が喜ばれたとのご連絡をいただきました。今後も継続して実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

○届けていただきたい食品
お米・レトルト食品・インスタント食品・缶詰・瓶詰・乾麺・のり・わかめ・昆布・粉末食品（お茶漬けの素・味噌汁・ふりかけ等）調味料（醤油・砂糖・麺つゆ・塩・味噌・酢・食用油等）・菓子など

○注意いただきたい事項
・賞味期限が明記されており、１ヶ月以上あるもの（社協によっては３ヶ月以上）
・未開封で中身が出ていないもの
・常温保存が可能なもの

エコキャップ収集運動にご協力ください

山陰教区では、御同朋の社会をめざす運動（実践運動）取り組みの一環として、「エコキャップ収集運動」を実施しています。

「エコキャップ収集運動」は使用済みエコキャップをリサイクルメーカーに売却した代金で、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動です。

教務所には3月までに、約１４０kgご協力いただきました。

※お持ちいただくキャップは、軽く洗い、飲料や汚れを落としてください。

2025（令和7）年度 山陰教区「勤式練習所」

今年度も「勤式練習所」を開設いたします。

仏さまへのお敬いの心を形にしたのが勤式作法です。

お経のご文を深く味わう声明理論や僧侶とご門徒ともにみ教えを共感するための作法。あらためてご自身の作法や勤式理解を確認してみませんか。

今年度は、僧侶・門信徒の方に正信偈を学んでいただく講義を行います。

また、より多くの方に受講いただけるよう、出雲市・大田市・江津市の公共施設にて開催いたします。

どうぞお誘い合わせのうえ、受講ください。

開催日	時間	会場	内容	講師	準備物
5月28日（水）	13時～15時半	出雲市民会館（出雲市）	正信偈	山陰教区勤式担当	「浄土真宗聖典－勤行集－」「勤式集」「小本和讃」または普段お使いの聖典 〈僧侶〉 平服・布袍・輪袈裟・単念珠 〈門徒〉 単念珠・式章
6月19日（木）	13時～15時半	あすてらす（大田市）			
10月10日（金）	13時～15時半	江津市総合市民センター／ミルキーウェイホール（江津市）			

受講料　各回1,000円

オフィスの身近な応援団！
For the best service company.
MiC 株式会社ミック
本社 〒690-0826 松江市学園南2-10-14タイムプラザビル1F
TEL 0852-27-0329 FAX 0852-27-0376
支店／出雲・雲南・大田・浜田・益田・山口
https://www.mic-ltd.co.jp

印刷と出版でできること。
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。
人と向き合い、地域と向き合い一緒になってつくること。
それが私たちにできる、地域貢献のカタチだと考えています。
お客様の良き相談相手になることを目指します
株式会社谷口印刷
HARVEST ハーベスト出版

ドレミファ組

佐波組 実践運動の取り組み

佐波組組長　大草眞教（おおくさしんきょう）

「佐波組は、邑智郡美郷町の北部21カ寺（うち住職代務寺院が5カ寺）の組である。」これは平成30年2月に前組長さまが書かれたドレミファ組の書き出しである。あれから7年経過する中、廃寺等あり18カ寺（うち住職代務寺院が5カ寺）となった。

以前、「寺が消える」とショッキングな映像が流れた。今まさに厳しい現実と向き合っている。

わが組の実践運動の現状は、『高齢者（施設における）の心の支援』を目標に掲げ、特別養護老人ホーム法話会に交代で出講し寺院参拝が困難な方へ聴聞のご縁を届けている。加えて、デイサービスセンター1施設も出講対象とし活動の広がりを図ったところである。

以前実施していた「報恩講スタンプラリー」は5カ寺以上参拝されたお同行を表彰した。青少年には、「お寺ご飯を食べよう」と銘打って報恩講時のお斎を食べてもらうように呼びかけ、文房具等の提供をした。

ただコロナ禍以降、報恩講時のお斎の提供を再開している寺院が少なく、別のアプローチを模索中である。

また、「ほとけの子のつどい」の開催や「グラウンドゴルフ大会」などを開催し、世代を超えてお念仏の声が続くことを願った活動を行っているところである。

個々の研鑽として、町主催の人権講演会を組内各寺院に案内し、共に学ばせていただくなかで日頃から人権意識を常に持つように心がけている。新しい気付き、日常の中で忘れていたことを再発見していきたい。

前述したとおり厳しい過疎化のなか、笑顔を喜びを共に感じることのできる活動を進めていきたい。

つぶやき職員

「暑さ寒さも彼岸まで」、彼岸の終わりとともに暖かくなったというより急に暑くなり、過ごしやすい季節がだんだんと少なくなったように感じております。

先日、何気なく仕事の効率の良い進め方について調べてみました。そこには、1日の目標を決める、優先順位をつける、ポモドーロテクニック（25分集中＋5分休憩）、見直す、自己管理等が挙げられていました。

ふと私自身の生活に当てはめてみたとき、その日、もしくは1週間の目標なり予定を立てていただろうか、1日を終え振り返ってみただろうかと思い、結果として何となく過ごしている自分に気づきました。もちろん仕事や法務はそうではありませんが、普段の生活を思い返したとき、もったいないことをしていたと思いました。

何となく過ごした1日と、目標を立てて過ごした1日、同じ時間ではありますが、充実するのは後者の方かもしれません。毎日というわけにはいきませんが、少しずつでも実践し、良い1日であったと思いたいものです。

（M・S）

伝統ある京佛具を後世に伝えたい
浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用　在家用　仏壇　仏具　記念品
株式会社 古田佛具製作所
〒600-8328　京都市下京区正面通西洞院東入ル蛭子水町609
TEL(075)343-2341　FAX(075)343-0836
フリーダイヤル　0120-178-413
フリーファックス　0120-343-036

本体サイズ 7.9×4.4×1.2㎝（紙箱入）
(1) 黒
(2) 白
(3) ピンク
LEDライト付 F7056
スイングルーペ 下藤紋入り
ライトが点灯！
倍率3.5倍！
井筒法衣店
〒600-8468
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
Tel 075-351-1234　Fax 075-341-7905
0120-075-720
オンラインショップはこちらから

憂楽帳

雅龍会 20周年を迎えて

雅龍会 会長
小原静伍（こばらせいご）

雅楽と声明の会、「雅龍会」が20周年を迎えました。教区のご寺院のみなさまのご協力、歴代の先輩のご苦労により、この節目を迎えられましたことお礼申しあげます。

記念行事といたしまして、まず教務所長導師のもと、会員にて頭と讃嘆衆を分担し、具足と奏楽による荘厳を整え「新制御本典作法」を勤修いたしました。また、会の名称に因んだ龍の紋の五条袈裟を調製いたしました。今後の出仕の際に用いてまいります。

その後の研修は「敬いなくして儀礼はなし～お勤めに浄土を感じますか～」と題し、名誉侍真である近松照俊 師にご出講賜りました。御真影に侍された五十余年。内陣に出仕する際の姿勢から、声明のご文と儀礼や博士の関係性をご教導いただきました。その中で、例えば敬礼とありながら敬いの心が宿っているか、御文に合わせてここは読むだけでなく礼をすべきではないのか、慣れ親しんだ声明の再確認の必要性を感じました。教区内からも経典の句読点となる場所と息継ぎの整合性についてのご意見も賜っております。

近年では、時代に即した新しい葬儀規範として、故人の人となりを盛り込んだ表白作りが提案されます。その際にも、あくまで阿弥陀如来、宗祖をはじめとする念仏伝来の諸師の讃嘆をながり、一体となっているとき、まさに浄土を感じると経験を述べられました。

現代の勤式に求められているのは、やらされている儀礼の見直しではないでしょうか。年々更新される儀礼を参集の者同士どう調和させていくか、次の節目に向けての課題であり、敬いのない儀礼に門信徒が礼するはずがないと襟を正された節目でありました。

今後ますます清浄薫、清浄楽のお心を体し、さらなる研鑽に務めますので、ご指導賜りますようお願い申しあげます。

大切にしていく所存です。

浄土の様相に表わされた阿弥陀如来の智慧と慈悲。親鸞聖人はその様子を「宮商和して自然なり」とお喜びになられました。雅楽が表わす光や歓声、声明の仏徳讃嘆、大御前は御堂においてお勤めが導師から同音へとつ

編集後記

さまざまな要因による気候変動で、12月末から1月にかけては、春に近い暖かい日もあり、寒い冬はやってこないと感じていたところ、2月に入り一気に冬の気候となりました。

ご本山でも雪が積もり、なかなか見ることのできない雪景色に包まれた両堂の写真を見せていただき、とても風情を感じました。

私の地域では、例年より雪が少なく、雪かきをしなくてもいい日々でありました。

そんな中、2月の法座の頃に十年に一度の大雪予報。

法座を迎えるまで、天気予報と睨めっこをしながら心配の日々でありました。

初日は積もることなく無事に終え、安心していたところに二日目は予報通りの大雪。

お参りにお越しになられるか心配をしましたが、大雪の中でも多く参拝され、雪の降るなか歩いてこられるご門徒のお姿を見て、ありがたく嬉しい限りでありました。

（U・S）